

平成16年6月28日

報道機関 各位

情報化推進部情報企画課長
河野 登

難病対策センター・相談室 オープニングセレモニーのご案内

広島大学病院では平成16年6月、外来診療棟に「難病対策センター・相談室」を開設しましたのでお知らせします。

つきましては、皆様へのご紹介を兼ねまして、下記のとおりオープニングセレモニーを開催する運びとなりましたのでご案内いたします。

詳細につきましては、別紙をご覧ください。

記

日時 平成16年7月3日(土)10時～11時30分

場所 広島市南区霞1-2-3

広島大学病院 外来診療棟2階 難病対策センター・相談室及びその前のロビー

出席者 浅原 利正 広島大学病院長

新木 一弘 広島県福祉保健部長

松本 昌泰 難病対策センター長

岡馬 重充(予定) 広島難病団体連絡協議会長

ほか

【問い合わせ先】

広島大学病院 外来診療棟2階 難病対策センター・相談室

TEL/FAX 082-257-5072(平日 9:00-16:00)

E-mail cidc@hiroshima-u.ac.jp

広島大学病院 総務グループ副課長 近藤

TEL 082-257-5014

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]

[・難病対策センター・相談室からの案内](#)
[・難病対策センター・相談室について](#)

難病対策センター・相談室 オープニングセレモニーのお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、広島大学脳神経内科内に「難病対策センター」を新設することになり、センターの一部は、県からの受託研究費用で運営されることになりました。

詳細につきましては、別紙に示しているとおりです。今後ともますますのご協力とご支援の程、よろしくお願いいたします。

つきましては、皆様へのご紹介を兼ねまして、下記のとおり難病対策センター・相談室のオープニングセレモニーを開催する運びとなりましたのでお知らせします。

記

日時 平成16年7月3日 土曜日 午前10:00～11:30
場所 外来棟2階 難病対策センター・相談室及びその前のロビー

プログラム

- | | | | |
|----|-------------------|---|-----------------|
| 1. | 広島大学病院長 | 浅原 利正 挨拶 | 10:00～
10:10 |
| 2. | 広島県福祉保健部長 | 新木 一弘 挨拶 | 10:10～
10:20 |
| 3. | 難病対策センター長 | 松本 昌泰 挨拶 | 10:20～
10:30 |
| 4. | 広島難病団体連絡協議会
議長 | 岡馬 重充 挨拶予定 | 10:30～
10:40 |
| 5. | テープカット | | 10:40～
10:45 |
| 6. | コーラス | 全国パーキンソン病友の会 広島県支部
コーラスグループ『コールた
んぽぽ』 | 10:45～
11:00 |
| 7. | ビオラ演奏 | 沖田 孝司 | 11:00～
11:25 |
| 8. | 難病対策センター事務局
局長 | 片山 禎夫 挨拶 | 11:25～
11:30 |
| 9. | 相談室閲覧 | | 11:30～ |

司会 難病対策センター事務局長 片山 禎夫
案内 難病対策センター事務員 山本 美緒

難病対策センター専門相談員 竹花 美紀

難病ふれあい相談

TEL:082-252-3777(平日9:00-12:00,13:00-16:00)

E-mail:scid@hiroshima-u.ac.jp

難病対策センター・相談室

〒734-0037 広島市南区霞1-2-3
広島大学病院 外来棟2階

TEL/FAX:082-257-5072(平日9:00-16:00)

E-mail:cidc@hiroshima-u.ac.jp

難病対策センター・事務局

〒734-0037 広島市南区霞1-2-3
広島大学病院 脳神経内科学

TEL:082-257-5201

FAX:082-505-0490

『難病対策センター・相談室』について

平成16年4月広島大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学（松本昌泰主任 教授）内に難病対策センター・事務局開設に引き続いて、平成16年6月広島大学病院（浅原利正病院長）内に難病対策センター・相談室が開設された。

厚生省（当時）は昭和47年難病対策要綱を掲げ、難病患者の医療費自己負担の解消のみならず、医療施設の整備をはかることを目的として、各都道府県に難病患者治療の給付目的で、特定疾患治療研究事業と難病相談専門員の設置をした。また、調査研究の推進目的で、疾患調査研究班を設置した。

広島大学においても、幾つかの研究班に加わり、難病研究班で調査研究を推進してきた。全国的にも、難病の中で、医療ばかりでなく福祉支援の必要性の高い神経難病患者への積極的な支援が必要であった。広島大学医学部においても、研究・医療ばかりでなく、積極的に難病相談員を支援し、難病対策を支援していた。

広島大学大学院脳神経内科は、神経難病患者を主な対象として、難病対策室を設け活動していた。その活動に注目した広島県は、難病相談予算を広島大学大学院脳神経内科へ委託し、平成16年6月、広島大学病院は外来診療棟に難病対策センター・相談室を設置、平成16年7月3日オープニングセレモニー（別紙）を開催する運びとなった。

この相談室の機能は、難病医療支援、難病患者の医療・福祉・生活相談から医療・福祉従事者に対する難病対策・福祉の啓発と医学生の教育にまでおよび、広島県は厚生労働省の進めている難病相談・支援センター機能も有しているとの理由で、また、難病患者団体である広島県難病団体連絡協議会もこれからの難病医療を担っていくと熱く期待している。

広島大学病院は広島大学独立法人後、独自の医療理念のもとに、疾患調査研究許でなく広島県全体の難病医療、福祉、研究、教育を担う施設として今、注目されている。